

## 新型コロナウイルス感染症から市民を守り抜くことを求める決議（案）

新型コロナウイルス感染症は、今もなお世界中の国々で猛威を振るっており、この間、国内においては、京都をはじめ2度の緊急事態宣言が発出された。

本市においても、昨年1月に初めての感染者が発生して以降、長きにわたって、医療機関をはじめとする各機関の皆様懸命の御尽力をいただき、また、市民・事業者の皆様におかれては、極めて大変な思いをされながら感染拡大防止の御協力をいただいていることに、改めて心より敬意を表すところである。

今年度、京都市会においては、新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算の迅速な議決のほか、議員報酬等の削減によって1億円を捻出し、これを新型コロナウイルス感染症対策支援支え合い基金に積み立てることで、市民・事業者・医療機関・医療従事者等への支援を行うなど、できる限りの取組を行ってきた。

今、新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、京都市会として、来年度、新たに議員報酬等の削減により1億円の捻出を行い、支え合い基金に積み立てることをここに決定し、引き続き、市民のいのちと暮らしを守り抜くことを表明する。

よって京都市においては、今後新たに始まるワクチン接種事業をはじめ、あらゆる対策についての取組を最大限強化し、新型コロナウイルス感染症から市民を守り抜くことを強く求める。

以上、決議する。